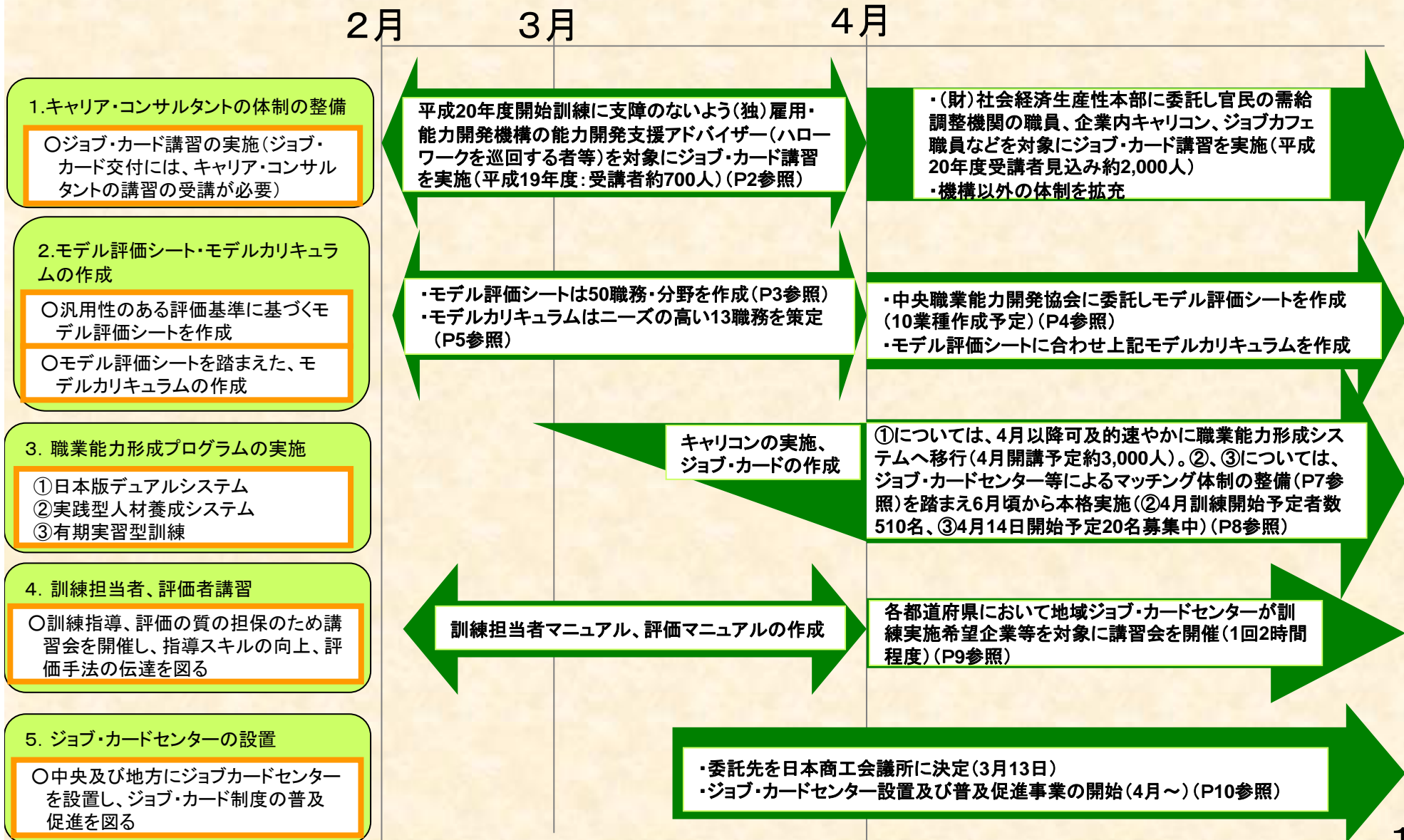


# ジョブ・カード制度(厚生労働省分)の準備状況

平成20年3月25日  
厚生労働省

# 進捗状況



# 1. キャリア・コンサルティング体制の整備 (ジョブ・カード講習の実施)

## 平成19年度

ハローワークを巡回する(独)雇用・能力開発機構の能力開発支援アドバイザー等を対象に実施。  
約700人が受講

→平成20年度当初から、47都道府県のハローワーク(能力開発支援アドバイザー等の巡回相談)等でキャリア・コンサルティングを受けられる体制を整備

## 平成20年度 (注)

○約2,000人を対象に講習を実施予定。

→官民の需給調整機関等のキャリア・コンサルタントを対象に実施し、ジョブカフェ、企業内においても、順次キャリア・コンサルティングを受けられる体制を整備。

(注)






- 1 実施団体:(財)社会経済生産性本部
- 2 一定の資格を満たすキャリア・コンサルタントであれば受講可。講習対象者の要件は次の①、②又は③のいずれかを満たす者とする。
  - ① キャリア・コンサルタント能力評価試験に合格した者
  - ② (独)雇用・能力開発機構、(社)日本経済団体連合会のキャリア・コンサルタント養成講座等を修了した者
  - ③ 官民の需給調整機関等の長が推薦する者であって以下のいずれかの要件を満たす者
    - イ 職業相談に係る資格を有する者
    - ロ 職業紹介・職業相談に係る経験を概ね3年以上有する者
    - ハ キャリア・コンサルティング業務に専ら従事する者(雇用能力開発機構の能力開発支援アドバイザーなど)であって、現に職業相談業務に1年以上携わる者

## 2-1. モデル評価シートの整備 (1)

### 平成19年度

- ・日本版デュアルシステム用の31モデルを職業能力形成プログラム用モデル評価シートに改変
- ・職業能力評価基準をもとに事務系19職務について、モデル評価シートを作成
- ・モデル評価シートは合計50職務・分野を作成

自動車整備	機械加工	金属加工	生産技術	
機械設計	電気工事	電気通信施工	データベース技術	ITインストラクタ
テクニカルサポート	情報通信	プログラミング技術	Webクリエイト	Javaプログラミング
エクステリア	建築設備	住宅営業	住宅環境	建築CAD
木工	オフィスビジネス	営業	医療事務	販売
介護サービス	港湾ロジスティクス	ホテルサービス	医療品アドバイザー	医療品アドバイザー
ビューティアドバイザー	印刷	DTP		31モデル

-  ...機械分野
-  ...電気・電子分野
-  ...情報・通信分野
-  ...建築・住居分野
-  ...サービス分野

①経営戦略	⑪営業 ⑫マーケティング ⑬広告
②人事 ③人材開発 ④労務管理	⑭生産管理プランニング ⑮生産管理オペレーション
⑤企業法務 ⑥総務 ⑦広報	⑯ロジスティクス管理 ⑰ロジスティクスオペレーション
⑧経理 ⑨財務管理	⑱国際経営管理 ⑲貿易
⑩経営情報システム	

## 2-1. モデル評価シートの整備 (2)

平成20年度

中央職業能力開発協会が業界団体に働きかけ、下記の中からニーズに応じ10業種を選定し、関係する職務についてのモデル評価シートを作成予定

産業大分類	業種(中・小分類等)
E 建設業	造園工事業
	内装工事業
	鉄筋工事業
F 製造業	食料品製造業
	電気機械器具製造業
	輸送用機械器具製造業
	繊維・衣服等製造業

産業大分類	業種(中・小分類等)
H 情報通信業	電気通信工事業
J 卸売・小売業	各種商品卸売業
	各種商品小売業
M 飲食店、宿泊業	宿泊業
	外食産業
Q サービス業	広告業
	旅行業

## 2-2. モデルカリキュラムの整備

### 平成19年度

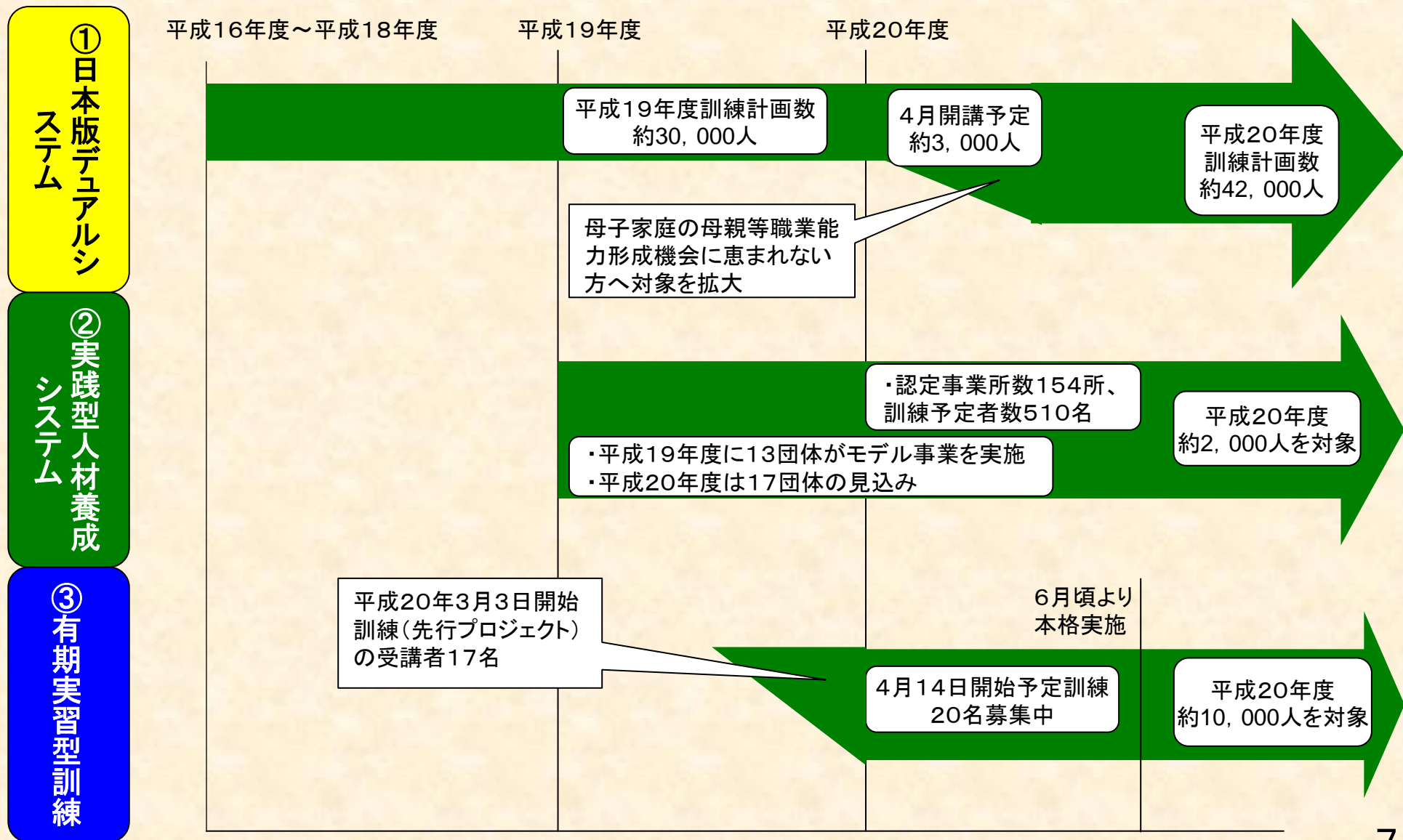
日本版デュアルシステム用の31モデル(2(1)参照)の中から、ニーズの高い13職務についてモデルカリキュラムを作成

- ①データ処理事務、②営業・販売、③一般・会計事務、④医療事務、⑤介護、⑥テクニカルサポート、⑦情報通信、⑧プログラミング技術、⑨Webクリエイト、⑩住宅営業、⑪ホテルサービス、⑫ビューティーアドバイザー、⑬DTP(Desktop publishing)

### 平成20年度

平成20年度はモデル評価シートを策定する予定の10業種(2(2)参照)に合わせモデルカリキュラムを作成予定

# 3-1. 職業能力形成プログラムの実施に向けた現在の取組状況



## 3-2. 職業能力形成プログラムの実施方法

### I 既存の枠組みで実施：日本版デュアルシステム

日本版デュアルシステムについては、委託者たる(独)雇用・能力開発機構等が委託の実施主体として、カリキュラム・評価シートの作成を支援する。

### II 新たな組み合わせ訓練等：有期実習型訓練、実践型人材養成システム

#### ①モデル評価シート・モデルカリキュラムがある分野

地域ジョブ・カードセンターが、当該分野の協力企業・教育訓練機関を開拓。興味を示した企業に対し、訓練コーディネーターが教育訓練機関とのマッチングを行う。

#### ②モデル評価シート・モデルカリキュラムがない分野

イ) 地域ジョブ・カードセンターが、実施しようとする企業の職務を把握の上、(独)雇用・能力開発機構等の専門機関の助言をもとに評価シートを作成。関連コースを有する地域の教育訓練機関と連携してカリキュラム策定を支援。

ロ) 地域ジョブ・カードセンターが研修事業を実施する業界団体等にかリキュラム等の作成を依頼し、その傘下企業の参加を求める。



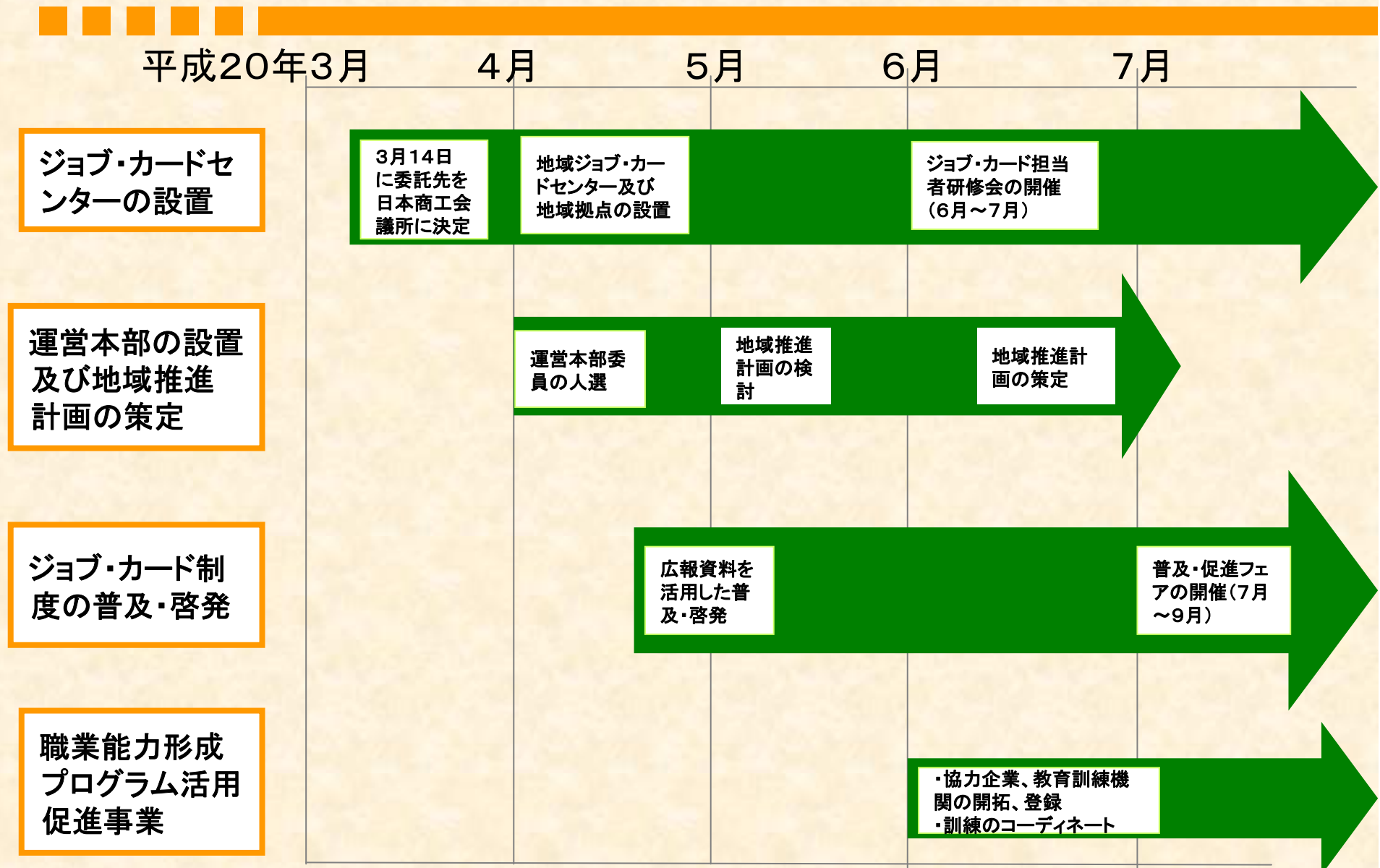
## 4. 訓練担当者、評価者講習

### 訓練担当者・評価者講習の内容(講習内容の一部)

- 1 評価シートの提示……訓練実施前に、評価の対象となる具体的な職務や評価項目を訓練生に提示し、訓練における到達目標などを確認・明確化。
  - 2 中間評価……(自己評価)評価項目について達成状況を確認。  
(企業評価)未到達として確認された項目について助言し、その後の訓練に反映。自己評価と異なる評価の項目についてはその理由を訓練生に説明。
  - 3 修了評価……(自己評価)評価項目について達成状況を確認。  
(企業評価)到達段階について確認し、未到達の項目があれば、訓練生の今後のキャリア形成の参考となるよう助言を行う。自己評価と異なる評価を行うものについては、丁寧に理由を説明。
- ※ 訓練・評価担当者は、受講者の日常行動について記録。
  - ※ 訓練・評価担当者は、訓練生に対して行った訓練・評価等の内容を、訓練・評価責任者に報告。
  - ※ 評価担当者の評価結果に異議ある場合には評価責任者が対応。

平成20年度は全国で約2,400人を対象に講習を実施予定

## 5. ジョブ・カードセンターの設置



※日本商工会議所提出の実施企画書による